

KIOI SINFONIETTA TOKYO
"PURCELL" AND "HÄNDEL"
WITH RICHARD EGARR, A NEW LEADER OF THE EARLY MUSIC

紀尾井シンフォニエッタ東京の
「パーセル」と「ヘンデル」
〜新時代の古楽リーダー、リチャード・エガーを迎えて

指揮：リチャード・エガー
CONDUCTOR : RICHARD EGARR
管絃楽：紀尾井シンフォニエッタ東京
ORCHESTRA : KIOI SINFONIETTA TOKYO
ソプラノ：阿部早希子
SOPRANO : SAKIKO ABE
カウンターテナー：藤木大地
COUNTERTENOR : DAICHI FUJIKI

Händel (1685-1759) : Arrival of the Queen of Sheba ("Solomon" HWV67) ヘンデル：オラトリオ《ソロモン》HWV67より「シバの女王の入城」
Purcell (1659-95) : Big Suite for Soprano and Orchestra ("Fairy Queen") パーセル：歌劇《妖精の女王》より「ソプラノと管絃楽のための大組曲」
Händel (arr. by Egarr) : Suite "Water Music" ヘンデル(エガー編)：組曲《水上の音楽》
Händel : ヘンデル：
Lascia ch'io pianga ("Rinaldo" HWV7) 歌劇《リナルド》HWV7より「私を泣かせてください」
Da tempeste il legno infranto ("Giulio Cesare" HWV17) 歌劇《ジュリアス・シーザー》HWV17より「海の嵐で難破した小舟は」
Ombra mai fu ("Serse" HWV40) 歌劇《セルセ》HWV40より「オンブラ・マイ・フ」(なつかしい木陰よ)
Venti, turbini ("Rinaldo" HWV7) 歌劇《リナルド》HWV7より「風よ、旋風よ」
Scherzano sul tuo volto ("Rinaldo" HWV7) 歌劇《リナルド》HWV7より「あなたの面差しは優美に溢れ」

4/1
19:00
[金]

上野学園 石橋メモリアルホール

April 1 [Fri.] at 19:00 Ishibashi Memorial Hall, Ueno Gakuen

S ¥7,200 A ¥5,200 U-25 ¥1,500 (税込) ※U-25のみ2月12日[金] 12:00より発売 [公式サイトのみで取扱]

主催：東京・春・音楽祭実行委員会 特別協力：上野学園 石橋メモリアルホール 協力：公益財団法人 新日鉄住金文化財団
助成：公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド

紀尾井シンフォニエッタ東京の「パーセル」と「ヘンデル」

～新時代の古楽リーダー、リチャード・エガーを迎えて

創立20年を迎え益々充実の演奏を聴かせている紀尾井シンフォニエッタ東京 (KST) が音楽祭に初登場。アーノンクールらに続く欧州古楽界の新時代リーダーとして名高いリチャード・エガーを指揮に迎え、KSTでは珍しいバロック・プログラムをお届けします。

リチャード・エガー (指揮)

Richard Egarr (Conductor)

ヨーク大聖堂の少年合唱隊、マンチェスターのチータム音楽学校を経て、ケンブリッジ大学クレア・カレッジでオルガン奨学生として学ぶ。グスタフ・レオンハルト夫妻に師事し、影響を受ける。現在は、指揮、鍵盤楽器のソロ・弾き振り、室内楽、音楽祭、リサイタル、レコーディング等、幅広い活動を展開。2006年からエンシェント室内管弦楽団音楽監督、ハーグ・レジデンティ管弦楽団首席客演指揮者、スコットランド室内管弦楽団アソシエイト・アーティスト等を務める。客演指揮者として、ボストンのヘンデル&ハイドン・ソサエティ、ロンドン交響楽団、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団等と共演。



©Marco Borggreve

紀尾井シンフォニエッタ東京 (管弦楽)

Kioi Sinfonietta Tokyo (Orchestra)

1995年、紀尾井ホール開館時に同ホールを本拠とする演奏団体として発足。国内外の第一線で活躍する演奏家が集い、数多くの優れた指揮者やトップアーティストと共演を重ね、日本を代表する室内オーケストラの一つに数えられている。2000年に実施した初の欧州ツアー、05年のドレスデン音楽祭への招待出演、12年の米国主要4都市での公演等、国内・海外で活発な演奏活動を展開。レコーディングにも積極的に取り組み、川久保陽紀とともにライブ録音したヴィヴァルディ《四季》(avex classics)、A.ナヌート指揮によるベートーヴェン交響曲第5番《運命》(EXTON)、ブラームス交響曲第4番 (EXTON) 他が好評を博している。



©三好本輔

KIOI SINFONIETTA TOKYO "PURCELL" AND "HÄNDEL"

WITH RICHARD EGARR,
A NEW LEADER OF THE EARLY MUSIC

東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2016- 3.16 Wed.-4.17 Sun.

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う——
明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1か月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワグナー・シリーズ」や、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約130公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとときに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2016-」が東京・上野の春を美しく彩ります。

春が訪れ
桜がひらいて
音楽が始まる
上野の森に

阿部早希子 (ソプラノ)

Sakiko Abe (Soprano)

東京藝術大学卒業。奨学金を得て渡伊。ミラノ市立音楽院歌曲科・古楽バロック唱法科、ピアチェンツァ国立音楽院歌曲科修士課程を首席で卒業。第75回日本音楽コンクール入選、コネリアーノ国際歌曲コンクール第3位、V.ブッキ国際現代音楽コンクール第2位等、入賞多数。宗教曲のソリスト、音楽祭、リサイタル等で活躍。オペラ出演は、ヘンデル《アリオダンテ》ジネブラ役、同《クローリ、ティルシ、フィレーノ》クローリ役他、多数。



©Masaru Nakamura

藤木大地 (カウンターテナー)

Daichi Fujiki (Countertenor)

2012年、日本音楽コンクール声楽部門第1位。史上初めてカウンターテナーが優勝し話題となる。13年ボローニャ歌劇場の開場250周年記念に上演されたグルック《クレーリアの勝利》マンニオ役に抜擢。2014/15シーズンから日本人カウンターテナーとして初めてウィーン国立歌劇場と客演契約を結ぶ。幅広いレパートリーで国際的な活動を展開。15年、第19回松方ホール音楽賞受賞。東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。ウィーン在住。



©K.Kitano

チケットのお申込み

東京・春・音楽祭チケットサービス

お電話でのお申込み

03-3322-9966

オペレーター対応 [営業時間 10:00-18:00 土日祝・休]

オンライン <http://www.tokyo-harusai.com/>

(座席選択可・登録無料)

公式サイト
限定の
嬉しい
サービス!



公式サイト内オンライン・チケットサービス限定で、左記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や席種および、取扱チケット枚数は限定されております。詳細は公式サイト「チケット」ページにてご確認ください。

その他プレイガイド

- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(オペレーター)
- チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/harusai/> 0570-02-9999(音声自動応答)☎597-882
- ローソン・チケット <http://l-tike.com/harusai/> 0570-084-003(音声自動応答)☎31413
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>

公演に関するお問合せ
東京・春・音楽祭実行委員会
03-5205-6497



※車椅子席、団体のご鑑賞等、詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会までお問合せください。※未成年者のご入場はご遠慮いただいております。※掲載の情報は2015年10月20日現在のものです。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。